

事例④ D小学校



事例⑤ E中学校

◇昨年度の研究成果と課題

成果 それぞれの発達段階に応じた対話的な学びの場が実現できた。
課題 思考を深めるということが具体的にできなかったため、研究成果が見えにくい。

◇全国学力・学習状況調査の結果より

「国語」「算数」どちらにおいても知識・技能の正答率の差よりも、思考・判断・表現の正答率の差が大きかった。

◇大規模校であるための課題

- 校内研究の事後研究会で全ての教員が協同に積極的に参加できていない。
- 校内研究でめざす子どもの姿や授業を全職員で共有して進めることが難しい。

4, 5月の授業の様子

- どの教科においてもできる手が届いていない。
- わからない手や眠っている手が止まってしまうことがあり、二極化している。
- ノートすら書くという手もいた。

◎子どものつよさを生かすように授業を進める。

異学年でも協同授業
 学年を超えて協同授業を行うことで、学年を超えて学びを深め、知識・技能を定着させる。

◎板書を工夫していく...

板書を工夫していくことで、子どもが理解しやすいようにする。

10月ごろ

全体が高まっている。
 どの教科でも、一部の手ががんばるのではなく、わからないことは自分から聞く、困っている手へ教員が寄りかかってくれるようになった。

赴任当初の印象

学校教員目標
 一人一人の「得意」を「見つけ出す」
 たくましく育つ【制作】

本校の現状と課題
 話し合いの場が少なく、学習意欲が低い。
 話し合いの場を創出する必要がある。
 話し合いの場を創出する必要がある。
 話し合いの場を創出する必要がある。

4/18 全体会①
 ◎命題の研究の概要
 ◎授業研究の進め方
 ◎校長先生の話

5月 授業アンケート
 ついて
 ◎記入の仕方
 ◎取組の意義
 ◎学年ごとに参加し推進

6/9 授業研究会①
 ◎研究課題
 ◎協議内容
 ◎協議内容
 ◎協議内容

7, 8月 学年別による 校務研究会
 ◎学年別による校務研究会
 ◎学年別による校務研究会
 ◎学年別による校務研究会

8/4 全体会②
 ◎協議内容
 ◎協議内容
 ◎協議内容

9/27 授業研究会②
 ◎協議内容
 ◎協議内容
 ◎協議内容

10/5 授業研究会③
 ◎協議内容
 ◎協議内容
 ◎協議内容

定期的な取組

- 協議内容の共有
- 協議内容の共有
- 協議内容の共有

【共通理解・共通意識のために】

- 子ども達の成長に貢献しているが、「知識・技能」を重んじているが、「思考・判断・表現」の伸びがなかなか見えない。
- 協議内容について話し合い、共通理解・共通意識を醸成する。
- 協議内容について話し合い、共通理解・共通意識を醸成する。

子ども達の成長に貢献しているが、「知識・技能」を重んじているが、「思考・判断・表現」の伸びがなかなか見えない。

4月26日 プロジェクト研究会①

6月23日 プロジェクト研究会②

8月5日 プロジェクト研究会③

9月22日 プロジェクト研究会④

9月30日 プロジェクト研究会⑤

10月20日 プロジェクト研究会⑥

11月17日 プロジェクト研究会⑦

10月までの取組の成果

協議内容の共有
 協議内容の共有
 協議内容の共有



協議内容の共有
 協議内容の共有
 協議内容の共有

課題と11月以降の取組

協議内容の共有
 協議内容の共有
 協議内容の共有



協議内容の共有
 協議内容の共有
 協議内容の共有

